



# 私たちが描く 未来のために

～本市の子どもたちの学力・学習状況～

■問合先／本庁学校教育課指導グループ(内線 5332)

**学力の現状と課題**

子どもたちには、本市で教育を受ける中で、「ふるさとを愛し」「心豊かで」「たくましい」人材へと成長し、将来の夢に向かってほしいと願っています。

今回は本市の学力・学習状況と学力向上への取り組み、本市の特色ある教育についてお知らせします。

### ① 鹿児島学習定着度調査

小学5年生と中学1・2年生を対象に、県教育委員会が1月に実施しています。(小学校4教科、中学校5教科)

平成30年の調査結果は、小学5年生が3教科(国語・算数・理科)で県平均を上回り、中学1・2年生は、1年生の理科と英語で県平均を上回りましたが、それ以外の教科は県平均を下回っており、学力の定着を図る必要があります。

### ② 標準学力検査(NRT)

小学2年生から中学3年生までの生徒を対象に、4月に実施しています。

学年や教科によって差があるものの、本市の小・中学生は全国とほぼ同等といえます。ただし、アンダーアチーバー(本来もっている能力に対して、学力の定着が十分でない児童生徒)が2割弱おり、個人の能力に応じた指導がさらに重要で

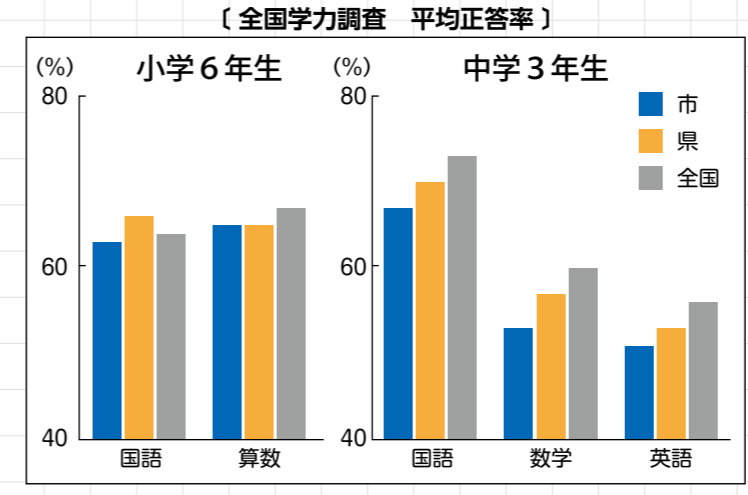
あると考えています。

### ③ 全国学力・学習状況調査

小学6年生と中学3年生を対象に、文部科学省が4月に実施しています。

小学6年生は、国語、算数においておむね全国平均同等の結果でした。中学3年生は、国語、数学、英語ともに全国平均を下回りました。

誤答傾向を分析すると、小・中学生ともに、複数の資料を基に考察する活用力や、長文を読み取る読解力に課題があります。



### 【全国学習状況調査】

この調査では、子どもたちの学習の関心や意欲、生活の状況についても調査しています。その中で本市の子どもたちの特徴的なものが、次の項目です。数値はそれぞれの項目に対して「当てはまる」と答えた割合です。

学校に行くのは楽しいですか。			
小学6年生		中学3年生	
全国	市	全国	市
53.9%	62.6%	45.7%	54.3%
将来の夢や目標を持っていますか。			
小学6年生		中学3年生	
全国	市	全国	市
65.9%	69.2%	44.9%	48.3%
自分には、良いところがあると思いますか。			
小学6年生		中学3年生	
全国	市	全国	市
43.1%	35.9%	31.3%	27.1%

これらのことから、本市では「学校に行くのは楽しいと感じ、夢や目標を持っている」子どもたちが多いことが分かります。

しかし、「自分には良いところがある」と思っている子どもたちは少ないようです。また、自分の良さを認め、自分を肯定的に捉える子どもほど教科の平均正答率が高いという分析結果も出ています。

### 英語教育の充実

#### 【EST(英語指導支援員)】



本市においては、全国に先行して昨年度から小学校での英語科の授業を実施しています。小学校の学級担任をサポートしながら、専門的な英語指導の支援を行うEST(イングリッシュサポートティーチャー・英語指導支援員)を採用し、市内の全小学校で学級担任やALT(外国語指導助手)と協同で授業を行っています。

子どもたちからは、「本物の英語を聞いて勉強になる」「外国の文化が分かりやすく説明してくれる」などの感想が寄せられています。

#### 【中学校英語発表会】

10月に国際交流センターで各中学校の代表生徒による英語発表会を開催しています。

1年生はスキット(寸劇)、2年生は暗唱、3年生は弁論(自作の英語弁論)という発表内容で、どの生徒もジェスチャーを交えながら、日頃の英語学習の成果を発揮し、表現豊かに堂々としたスピーチを披露しています。



#### 【英語サマーキャンプ@寺E】

夏休みに少年自然の家でALTと2泊3日の英語サマーキャンプを行っています。英語中心の生活を送り、外国の文化に対する理解を深めるとともに、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する活動となっています。

参加した子どもたちからは、「ALTに自分の英語が通じた時はうれしかった」などの声が寄せられ、英語の学習意欲を高める機会につながっています。



学びの楽しさや喜びを味わう授業を目指して、授業改善を行っています。

新学習指導要領では「どのように学ぶのか」が重視され、教員が「何を教えるか」という観点だけではなく「児童生徒が学びを通してどのような力をつけ、それをどのように活用するか」が重要となります。 「知識の習得」を中心とした学習から「知識の活用」を目指すスタイルへと転換が迫られています。

学校では、以下のような10の提案を基礎として、具体的な授業の改善に取り組んでいます。

### 薩摩川内市 本物の授業を創る10の提案(概要)

- 1 どんな力をつけさせたいのか、何をどのように学ばせるのか、目標を明確にした授業を行う。
- 2 子どもが学びたいと思うような魅力ある「学習問題やめあて」を子どもと創る。
- 3 子どもが「分かった。できた。」と考える授業を創る。
- 4 子どもが思い切り活動する授業を創る。
- 5 自分の思いを伝え、友達を認め、共に磨き、高め合う授業を創る。
- 6 子どもが「がんばった。工夫した。発見した。」と言える授業を創る。
- 7 ペアやグループ活動を生かして、全員が発表できる授業を行う。
- 8 教師が教卓から離れて、子どもの近くに寄り添い、子どもの様子や思いを感じ取ることを大切に授業を行う。
- 9 めあてとまとめをつなげて、分かったことや学んだことを振り返る授業を行う。
- 10 授業を終えたら板書を教室の後ろから見て、自分の指導を振り返る。

Check!